

小林さゆりさん研修会アンケート結果コメント

4. 日頃、仕事をする中で、不安や困難を感じている点があれば、お聞かせください。

- ①呼吸器の管理。意志伝達に関して。
- ②本人が希望するそのままの生活を実現すること（サービス、人的支援、医療的支援、制度などの壁）。
- ③来年、共生型小規模多機能施設を開所するにあたり、今まで障害者福祉の仕事をしたことがない。
- ④ご本人との関係性が密になりにくい。
- ⑤ここまで相談者と向き合って仕事をしているだろうか？ 想いに心を傾けているだろうか？ と初心にかえる思いでした。
- ⑥ヘルパ―24時間集めるのが大変。
- ⑦スピージョンを受ける機会がない。
- ⑧課題が山積している中で、日々その課題と向き合って仕事をしています。
- ⑨その人の思い通りになるように支援するのは難しいと感じます。
- ⑩チームのまとめ方。それぞれの思いがあるので。
- ⑪障害福祉について、実際に話を聞くのは初めてになるので、勉強したい。
- ⑫ALSなど難病に対して苦手意識がありましたが、一人の人として関わっていきたいです。
- ⑬どこまでどう関わるか？

5. もし、あなたが小林さゆりさんに関わるとしたら、あなたはどのように関わりたいと思いますか。

- ①医療的ケアは当然だが、意思を受けとめてやりたいことを実行できるように、共に知恵を出していきたい。
- ②体調面で安定して生活できるよう支援。病状の先を見越した支援。
- ③関係性の中で覚悟を持って支えるという言葉がありましたが、そのような関わり方を学びたい。
- ④医療面のケア。病状に応じた薬の相談。Drとの連携。服用方法の提案など。
- ⑤小林さんが必要とするお手伝いを自分の空いている時間で関わらせていただくことはできます。雑用OKです。
- ⑥まず、話をしてみたい。さゆりさんの人生観に触れさせていただきたいです。
- ⑦ご本人の思いを何より大切にしたい。
- ⑧本人主体。
- ⑨今日のような真似は決してできませんが、同じように真似していきたいと思います。

- ⑩パーをいただきました。
- ⑪さゆりさんのやりたい事を一緒にしたいと思います。さゆりさんから学びたいと思います。
- ⑫本人の気持ちをよく聞いて思いを実現する。
- ⑬沢山話がしたい。女子トークがしたい。
- ⑭「支援したい」と思わせてくださる方でした。何ができるかわかりませんが…。
- ⑮本人の思いを尊重した支援をしていきたい。
- ⑯さゆりさんの前向きな思いに寄りそいたいです。
- ⑰ご本人の思いを支援していきたいと思います。
- ⑱嵐のコンサートにお連れしたいなあと思います（もう決めておられるのかもしれませんがね…）。
- ⑲ALSの正しい情報を頂いて、自分のまわりに伝えていくこと。
- ⑳自分の知る制度上の話。アドバイス。地域の人材、（社会）資源に繋げる。

6. もし、あなたが小林さゆりさんに関わるとしたら、関わる中で不安や困難に感じることは何ですか。

- ①病状の変化時、コミュニケーション。
- ②行政も地域も障害者・高齢者・子どもたちが生活しづらい事を理解できない。
- ③コミュニケーション能力。
- ④不安ばかりです。既に関わっている方につないでもらいながら、自分ができることをさせていたきたいです。
- ⑤信頼関係ができるまでの不安。コミュニケーションのとり方。
- ⑥多くの関係者と協働していけば何とかなるかなと思います。
- ⑦急変時の知識。
- ⑧行政との壁
- ⑨わかることができるか。
- ⑩支援者の確保。
- ⑪一人で関わる事。いろいろな専門職との連携。
- ⑫支援している方々の熱量が多く、すごいと感じる。不安はあるかと思いますが、きっと皆さんで何とかするのかなーと感じました。
- ⑬さゆりさんの思いをしっかりと聞いてあげられるのかどうか…。
- ⑭病気や重度訪問サービスについての知識不足。（社会）資源不足。
- ⑮さゆりさんの生活が今後も続けていけるためには…と考えます。
- ⑯さゆりさんの望んでいることをキャッチできないのではないかな？ 無意識に傷つけるようなことを言うてしまうのではないかな？ などが不安です。

⑰介護サービスの定期巡回訪問が使えるのかもしれないと思いました。

⑱行政サービスだけでは支援は難しい。地域の資源が足りていない。

7. この研修会に参加しても感想やご意見、今後参加したい研修の内容等について、お聞かせください。

①本人も支援者も覚悟をもって取り組めば、道は開けることを学びました。ありがとうございました。

②高齢者の方が死ぬまで自宅で暮らしたいと言われる方が多いように、障害者の方も在宅で生活したいと思われるのは当然だと思います。地域に何があれば生活を支えられるのか学んでいきたい。

③大変勉強になりました。

④さゆりさんが自分で人生を選び、決めてきたところをもっと知りたいと思いました。

⑤これからの支援に繋がられるような勇気をたくさんいただきました。ありがとうございました。

⑥楽しかったです。

⑦一人じゃない。周りの方も逆に力をもらえていると思います。皆さんお体に気を付けてください。

⑧これからも当事者の方の話を聞きたいです。

⑨仕事から身体障害者だけでなく、ご高齢の方も24時間介護があれば施設に入所せず、ご本人の望む暮らしが在宅でできるのではないかと思います。さゆりさんのお母さんのことを考え、行動され、1日24時間介護が受けられ、一人暮らしができるようになるまで、長い時間がかかり大変だったと思いますが、サービスが受けられるようになり、本当に良かったです。ありがとうございました。

⑩とても元気をいただきました。ありがとうございました。

⑪ご本人の意思を大切にしながら、支援していきたいと思います。

⑫大変勉強になりました。

⑬法律の規定に沿った、人権が守られている福祉がなされているのでしょうか？

⑭もし、福祉有償輸送についての研修がオープンにあれば、聞きたいです。ありがとうございました。